

Raise Up “Daido Spirit”



大同メタル工業株式会社

株主のみなさまへ

第116期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

証券コード 7245

CONTENTS

株主の皆様へ	1
連結決算ハイライト(前年同四半期比)	1
営業のご報告	2
中期経営計画 Raise Up “Daido Spirit” (2018-2023)	3
事業セグメント別概要(事業内容・売上高構成比)	4
TOPICS	5
2024年3月期 通期 業績予想	6
配当について	6
決算の状況(連結)	7
業績の推移(連結)	8
企業情報	9
会社概要/役員	9
株式事項/グローバルネットワーク(主な拠点)	10
株主メモ	11
株式に関する諸手続のご案内	11
株主優待	11



代表取締役会長兼社長
CEO兼COO

判治誠吾

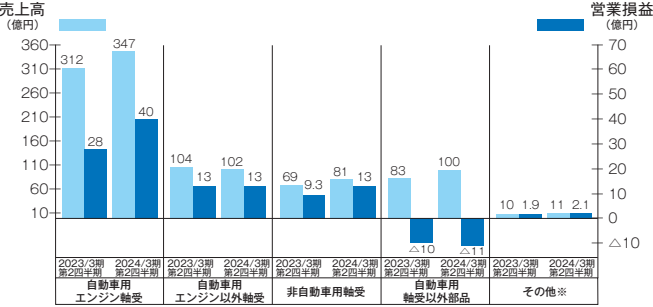
連結決算ハイライト(前年同四半期比)

1 2024年3月期第2四半期(累計) 決算概要

単位: 百万円 (百万円未満切捨て、比率は表示単位未満四捨五入)

連結業績	【前期】 2023年3月期 第2四半期	【当期】 2024年3月期 第2四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率
売上高	56,944	63,383	6,438	11.3%
営業利益 (営業利益率)	664 (1.2%)	2,210 (3.5%)	1,545 (2.3%)	232.4% -
経常利益 (経常利益率)	941 (1.7%)	2,212 (3.5%)	1,271 (1.8%)	135.1% -
親会社株主に帰属する 四半期純損益 (純損益率)	△ 2,475 (△ 4.3%)	615 (1.0%)	3,090 (5.3%)	- -
為替レート (1USドル/円)	136.68	144.99	左記為替レートは 各期6月末TTMレート	
為替レート (1ユーロ/円)	142.67	157.60		

2 セグメント別情報 / 売上高・営業損益(セグメント間消去前)



※「その他」の区分は、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート、不動産賃貸事業等を含んでおります。

3 セグメント別売上

◎増収要因 △減収要因 単位: 百万円 (百万円未満切捨て、比率は表示単位未満四捨五入)

セグメント	前年同四半期比		増減要因ポイント項目
	増減額	増減率	
自動車用エンジン軸受	3,545	(11.4%)	◎日本: 乗用車では半導体供給不足が緩和されたことの影響や新车型の好調による大幅な受注増 ◎欧米: 半導体供給不足が緩和されたことによる受注増
自動車用エンジン以外軸受	△ 215	(△ 2.1%)	◎欧州: 需要反動に伴う受注増 △日本: 乗用車関連では半導体供給不足が緩和されたものの、一部で在庫調整などの影響により受注減
非自動車用軸受	1,160	(16.7%)	◎船舶分野: コンテナ船などの大型船の需要の高まり、中国向け開拓の継続やコロナ禍からの回復によるサービスパーツの受注増 ◎建設機械分野他: 鉱山機械用などの底堅い需要の推移や日本、欧州の中高速エンジン用軸受の受注増 ◎エネルギー分野: 高効率な発電機ガスタービン用軸受の好調な需要、サービスパーツの受注増や石油精製プラント向けの圧縮機用軸受の開拓などによる受注増
自動車用軸受以外部品	1,763	(21.2%)	◎アルミダイカスト製品: 新規に納入する電動自動車用部品の需要増による受注増 ◎精密金属加工部品: 中国での需要後退はあるものの、日米で半導体供給不足が緩和されたことによる受注増
その他	127	(12.4%)	◎金属系無潤滑軸受の市況回復や開拓活動、ポンプ関連製品事業では設備投資の再開による旺盛な需要に伴う受注増
セグメント間消去	57		
全体合計:	6,438	(11.3%)	

4 セグメント別営業損益

◎増益要因 △減益要因 単位: 百万円 (百万円未満切捨て、比率は表示単位未満四捨五入)

セグメント	前年同四半期比		増減要因ポイント項目
	増減額	増減率	
自動車用エンジン軸受	1,261	(44.6%)	◎グローバルな増収による影響
自動車用エンジン以外軸受	36	(2.8%)	◎欧州の需要反動に伴う増収による影響 △日本の減収による影響
非自動車用軸受	458	(48.9%)	◎開拓による増収や販売価格の改善による影響
自動車用軸受以外部品	△ 162	(-)	△精密金属加工部品: 北米向け製品での下支えはあるものの中国での需要後退に伴う減収の影響
その他	20	(10.4%)	◎増収による影響
セグメント間消去	△ 68		
全体合計:	1,545	(232.4%)	

株主・投資家の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申しあげます。

ここに、2024年3月期第2四半期(累計)における営業の概要についてご報告を申しあげます。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、自動車業界における半導体の供給不足が緩和されたことによる需要回復、アルミダイカスト製品の電動自動車用部品の需要増加や為替の円安影響を受け、売上高は633億83百万円(前年同四半期比11.3%増)となりました。

利益面につきましては、営業利益は22億10百万円(同232.4%増)となりました。また、経常利益は22億12百万円(同135.1%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億15百万円(前年度四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失は24億75百万円)となりました。

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、自動車業界及び船舶分野が引き続き好調に推移する

ことが見込まれること等から、前回公表した業績予想を上回る見通しとなったため、修正いたします。前提為替レートは、1USドル/145円、1ユーロ/155円としております。

なお、2024年3月期の期末配当予想につきましては、当社業績の改善に加え、自動車業界及び船舶分野が引き続き好調に推移することが見込まれる等の事業環境の先行きを勘案した結果、期末配当予想を「6円」から「8円」へと修正いたしました。

また、当社と当社の完全子会社である株式会社アジアケルメツト製作所は、2023年5月25日付合併契約書に基づき、2023年10月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、株式会社アジアケルメツト製作所を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行いました。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後も引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月



今年度は現中期経営計画の最終年度です。将来的な事業ビジョンを明確化し、直面する事業環境の変化、実績と経営課題を総括、着実に構造改革を進め、企業価値の向上に取り組めます。

中期経営計画の実行

当社は次の四本の柱を経営の重要な軸と位置付け、グループ一丸・全員参加で取組んでおります。

※ “▶” は各柱に付随する目標を示しております。

第1の柱 既存事業の磨き上げ“真のトライボロジーリーダーへ”

- ▶ マーケットシェアの拡大
- ▶ 利益体質の強化
- ▶ 生産革新・効率化、技術革新

第3の柱 強固な基盤の確立“経営基盤の整備”

- ▶ 連結経営管理の高度化
- ▶ グローバル品質保証・グローバル技術開発・グローバル生産体制の再構築
- ▶ グローバルガバナンス・グローバル人事制度の導入
- ▶ 財務基盤の強化

第2の柱 新規事業の創出・育成“新たな事業の柱を築く”

- ▶ EV向けのアルミダイカスト製品の販売拡大
- ▶ 風力発電用特殊軸受事業等新規ビジネスの確立
- ▶ 新領域研究

第4の柱 組織・コミュニケーションの活性化 “柔軟で活力のある組織・人”

- ▶ コミュニケーションの活性化
- ▶ チャレンジを支援する仕組み作り
- ▶ 活力ある組織作り・働き方改革

事業セグメント別概要（事業内容・売上高構成比）

自動車用エンジン軸受

■事業内容

自動車（乗用車・トラック・レーシングカー）エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機（ターボチャージャー・バルancer機構）用軸受など。

〈主な製品〉



▲半割メタル



▲スラストワッシャー



▲ターボチャージャー用ベアリング

自動車用エンジン以外軸受

■事業内容

自動車部品（ショックアブソーバー、空調コンプレッサー、ステアリング、トランスミッション）用軸受など。

〈主な製品〉



▲ショックアブソーバー用ブシュ



▲射出成型軸受（空調コンプレッサー用など）



▲ステアリング用ブシュ

非自動車用軸受

■事業内容

船用低速エンジン用軸受、船用・産業用中高速エンジン用軸受、発電（水力・火力・風力）用軸受、産業用（コンプレッサー・増減速機等）軸受など。

〈主な製品〉

大型船舶用軸受



▲低速エンジン用軸受

建設機械・ 中小型船舶用軸受



▲中高速エンジン用軸受

発電用軸受



▲回転機械用軸受

自動車用軸受以外部品

■事業内容

自動車用（電動化自動車含む）アルミダイカスト製品、自動車及び二輪向け高精度・高品質部品（曲げパイプ製品、切削加工製品、ノックピン）など。

〈主な製品〉



▲PCUケース（パワーコントロールユニット）



▲曲げパイプ製品



▲切削加工製品

その他

■事業内容

金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、集中潤滑装置、電気二重層キャパシタ用電極シート事業、吸音板（カルム）など。

〈主な製品〉



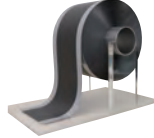
▲金属系無潤滑軸受



▲ロータリーポンプ

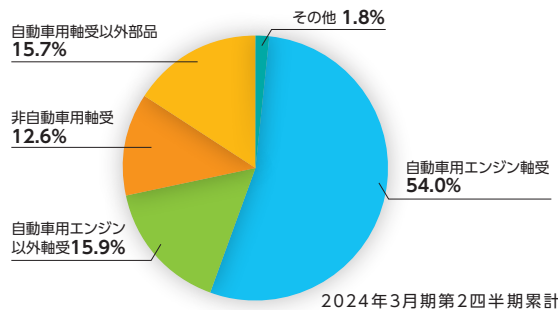


▲集中潤滑装置



▲電気二重層キャパシタ用電極シート

売上高構成比（外部売上比率）



2024年3月期第2四半期累計

説明会・展示会出展情報

IR 名証IRエキスポ2023 2023年9月(名古屋市)

当社ブースでは、ミニ説明会の開催とブースツアーの受け入れで、2日間で合計20回の会社説明を行い、盛況のうちに終えることができました。

個人投資家の皆様からは、当社の事業内容や強み、業績や株価の状況についてなど、様々なご質問やご意見を頂きました。

今後も、個人投資家の方々と顔を合わせてご説明ができる貴重な機会を大切に、当社の今後の成長に期待を持っていただけるよう、IR活動に努めてまいります。



グループ共同出展

大同メタル工業とグループ会社が共同出展し、エンジン用半割軸受、ドライブアリング、機能樹脂製品、樹脂コーティング、吸音材カルム、アルミダイカスト、精密金属加工部品やコア技術活用提案品等を展示いたしました。トライボロジーを根幹とした大同グループのコア技術と、未来に向けた取り組みが創り出す、“理想の未来像”を1つの街に見立てたジオラマを制作展示するなど、創意工夫を加えたオリジナルブースをご覧いただきました。

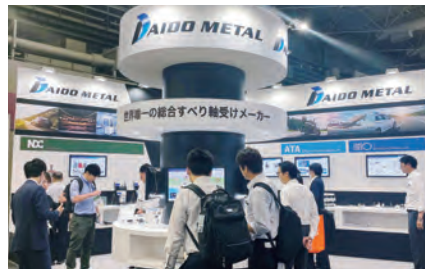
人とくるまのテクノロジー展2023 YOKOHAMA/NAGOYA

2023年5月(横浜市)、7月(名古屋市)



第26回 機械要素技術展

2023年10月(大阪市)



JAPAN MOBILITY SHOW 2023

2023年10月~11月(東京都)



風力発電

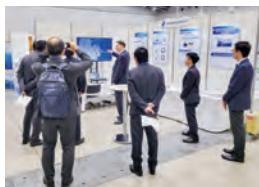
GLOBAL OFFSHORE WIND SUMMIT - JAPAN 2023

2023年10月(北九州市)

本イベントは、洋上風力発電をテーマに掲げた国際的な風力発電イベントで、洋上風力に関わる様々な講演や、洋上風力を中心とする企業・団体ブースの設置があり、当社もブースを出展しました。

展示ブースでは国内外の様々な企業・団体の方々や学生の皆様にも立ち寄っていただき、風車用主軸受を転がり軸受からすべり軸受化するメリットを多くの来訪者にご理解いただくことができ、興味を持っていただきました。

日本国内で存在する様々な課題に対し、我々サプライヤーは、目標を意識し、必要な時に軸受を提供できるように準備を進めてまいります。



VR

第2回 製造業DX展

2023年10月(大阪市)

本展示会は、VRクラウドソフトの担当部署が単独で出展いたしました。製造工程や人事労務・経理など、製造業のDX化にまつわるあらゆる展示の中で、当社はその場でVRを体験していただけるようゴーグルを準備し、たくさんの方に体験いただくことができました。

来場いただいた方からは「コンセプトが面白い」「まさに今こういうものを探していた」といったお声をいただき、直接製品を体感いただける貴重な機会となりました。



水素エンジントラックに当社のすべり軸受が使われています



当社のすべり軸受が使用されている水素エンジンを搭載したトラックの実証走行出発式が2023年6月27日に富山県で開催されました。

2026年度の社会実装（販売開始）の達成に向け、当社も自動車産業に携わる多くの企業と共に「既販中型重量車の水素エンジン化事業性検証プロジェクト」にご協力させていただいております。

カーボンニュートラル（脱炭素社会）に向けた技術開発にも、当社の製品が貢献しています。

中期経営計画の土台である「ESG経営による企業価値の向上」

2023年4月

「人権方針」を制定しました

今後、人権デュー・ディリジェンスの仕組みと手続きを整備し、継続的に実施していきます。

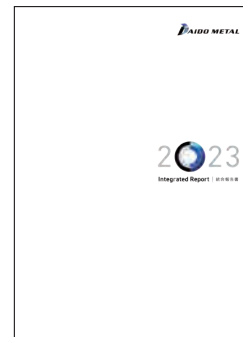
2023年6月

- ・TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言に基づく情報開示について、リスクと機会に対する当社の対応を記載しました。
- ・有価証券報告書に、気候変動、人的資本などサステナビリティに関する考え方及び取り組み内容を開示しました。

2023年11月

「統合報告書」を発行しました

- ・価値創造ストーリー
- ・ESGにかかる開示の充実（新規企画：会長インタビュー、社外取締役メッセージ等）



2024年3月期通期業績予想

最近の業績の動向等を踏まえ、2024年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

連結	前年実績 / 予想 (百万円)			
	2023/3 期 (実績)	2024/3 期 (予想)	増減額	増減率
売上高	115,480	128,000	+ 12,519	+ 10.8%
営業利益 (同利益率)	2,824 (2.4%)	4,700 (3.7%)	+ 1,875	+ 66.4%
経常利益 (同利益率)	2,909 (2.5%)	4,200 (3.3%)	+ 1,290	+ 44.3%
親会社株主に帰属 する当期純損益 (同損益率)	△ 2,208 (△ 1.9%)	1,200 (0.9%)	+ 3,408	—

※当期想定為替レート：145 円 / 米ドル、155 円 / ユーロ

配当について

当期の中間配当につきましては、2023年5月11日公表の予想値どおり、「1株当たり2円」とさせていただきます。

なお、2024年3月期の期末配当予想につきましては、当社業績の改善に加え、自動車業界及び船舶分野が引き続き好調に推移することが見込まれる等の事業環境の先行きを勘案した結果、期末配当予想を「6円」から「8円」へと修正いたしました。

	【前期】 2023年3月期	【当期】 2024年3月期
中間	10 円	2 円
期末	2 円	(予想) 8 円
年間配当	12 円	(予想) 10 円
配当性向	—	39.3%

連結貸借対照表

科 目		前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部	流動資産	94,054	102,055
	固定資産	79,262	83,342
	有形固定資産	55,520	58,569
	無形固定資産	10,509	9,939
	投資その他の資産	13,232	14,833
	資産合計	173,317	185,397
負債の部	流動負債	68,723	72,434
	固定負債	34,140	37,930
	負債合計	102,863	110,365
純資産の部	株主資本	55,388	55,928
	資本金	8,413	8,413
	資本剰余金	13,114	13,114
	利益剰余金	34,170	34,691
	自己株式	△ 310	△ 291
	その他の包括利益累計額合計	5,748	9,124
	その他有価証券評価差額金	974	1,589
	為替換算調整勘定	4,359	7,098
	退職給付に係る調整累計額	414	436
	非支配株主持分	9,317	9,979
	純資産合計	70,454	75,032
	負債純資産合計	173,317	185,397

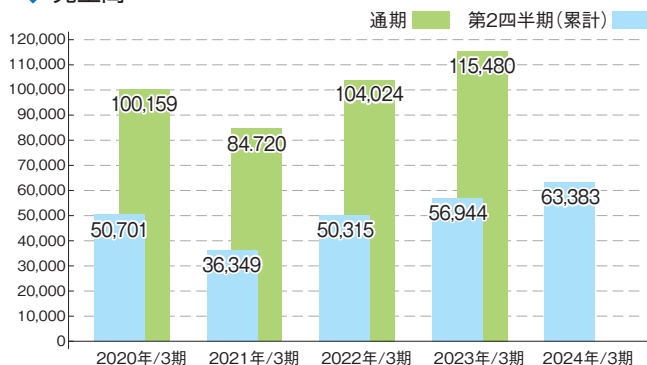
連結損益計算書

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (2022年4月1日～ 2022年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2023年4月1日～ 2023年9月30日)
売上高	56,944	63,383
売上原価	44,544	48,913
売上総利益	12,400	14,469
販売費及び一般管理費	11,735	12,259
営業利益	664	2,210
営業外収益	748	908
営業外費用	471	905
経常利益	941	2,212
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△ 1,021	2,212
法人税、住民税及び事業税	767	1,094
法人税等調整額	460	117
非支配株主に帰属する四半期純利益	225	385
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 2,475	615

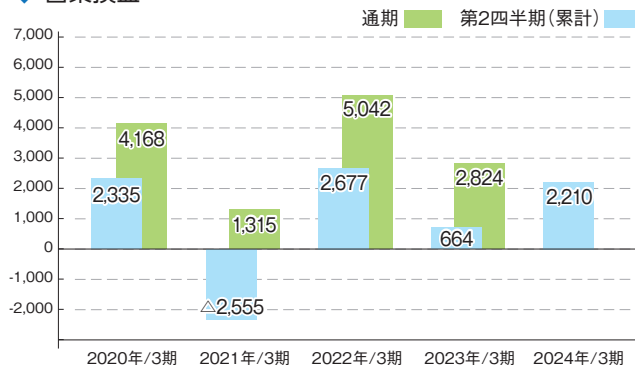
連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (2022年4月1日～2022年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2023年4月1日～2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,269	7,357
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,658	△ 4,705
財務活動によるキャッシュ・フロー	632	623
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,186	250
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 2,108	3,526
現金及び現金同等物の期首残高	18,868	18,955
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,760	22,481

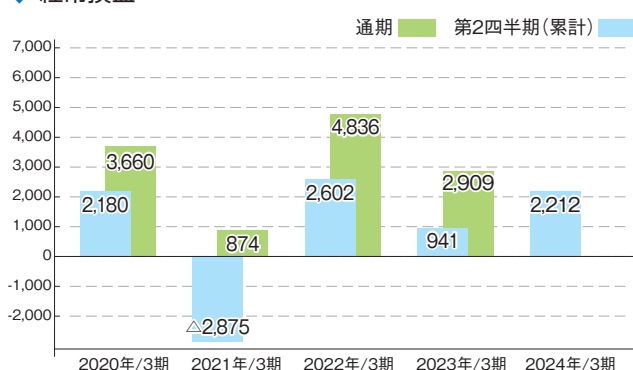
❖ 売上高



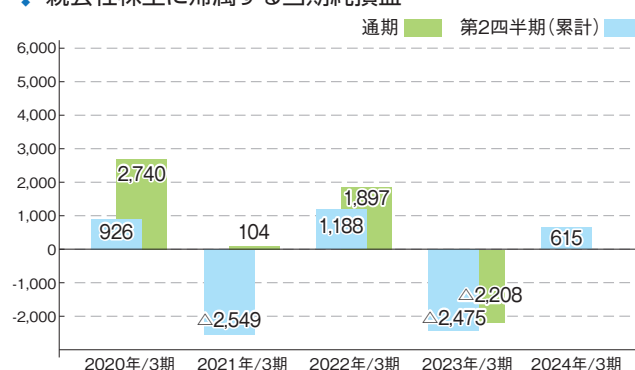
❖ 営業損益



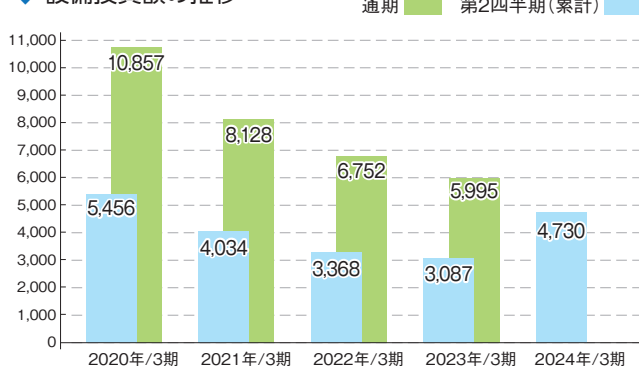
❖ 経常損益



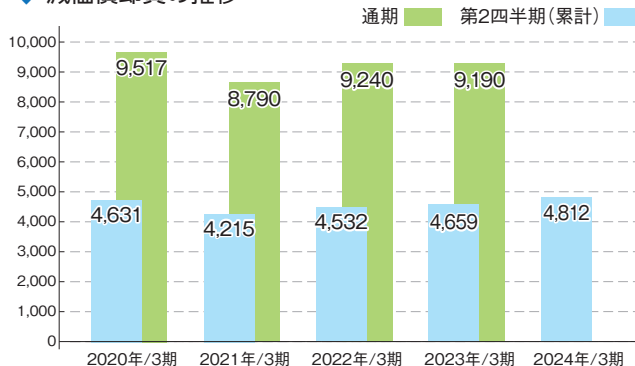
❖ 親会社株主に帰属する当期純損益



❖ 設備投資額の推移



❖ 減価償却費の推移



会社概要

(2023年9月30日現在)

設立	1939 年（昭和 14 年）11 月 4 日		
資本金	8,413 百万円		
従業員数	連結 7,014 名／個別 1,380 名		
事業内容	●自動車用エンジン軸受 自動車（乗用車・トラック・レーシングカー）エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機（ターボチャージャー・バルンサー機構）用軸受など ●自動車用エンジン以外軸受 自動車部品（トランスミッション、ショックアブソーバー、空調コンプレッサー、ステアリング）用軸受など ●非自動車用軸受 船用低速エンジン用軸受、船用・産業用中高速エンジン用軸受、発電（水力・火力・風力）用軸受、産業用（コンプレッサー・増減速機等）軸受など ●自動車用軸受以外部品 自動車用（電動化自動車含む）アルミダイカスト製品、自動車及び二輪向け高精度・高品質部品（曲げパイプ製品、切削加工製品、ノックピン）など ●その他 金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、集中潤滑装置、電気二重層キャパシタ用電極シート事業、吸音板（カルム）など		

本社	名古屋本社	〒460-0008	名古屋市中区栄二丁目 3 番 1 号 名古屋広小路ビルディング 13 階
	東京本社	〒140-0002	東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー17階
国内生産拠点	犬山工場（犬山事業所内）		前原工場（犬山事業所内）
	バイメタル製造所（犬山事業所内）		岐阜工場
国内販売拠点	TMB5 工場（犬山事業所内）		
	TMB5＝ターボマシナリーベアリングシステム（回転機械用軸受）		
国内販売拠点	東京支店、名古屋支店、大阪支店、北関東営業所、浜松営業所、広島営業所、九州営業所		

関係会社	●国内		
	大同ブレーンベアリング株式会社、エヌデーシー株式会社、大同インダストリアルベアリングジャパン株式会社、大同メタル佐賀株式会社、大同メタル販売株式会社、エヌデーシー販売株式会社、大同ロジテック株式会社、株式会社飯野製作所、ATA キャスティングテクノロジージャパン株式会社		
●海外 （主な拠点）	【アジア】		
	中原大同股份有限公司（台湾） 同晟金属株式会社（韓国） ダイナメタル CO., LTD.（タイ） フィリピン飯野 Corp（フィリピン） ATA キャスティングテクノロジー CO., LTD.（タイ）	PT. 大同メタルインドネシア（インドネシア） BBL 大同プライベート LTD.（インド） 韓国ドライベアリング株式会社（韓国） PT. 飯野インドネシア（インドネシア） DM キャスティングテクノロジー（タイ）CO., Ltd.（タイ）	
	【中国】		
	大同精密金属（蘇州）有限公司 広州原同貿易有限公司	飯野（佛山）科技有限公司	
	【ヨーロッパ】		
	大同インダストリアルベアリングヨーロッパ LTD.（英国） 大同メタルコントロール AD（モンテネグロ） 大同メタルヨーロッパ GmbH（ドイツ）	大同メタルチェコ s.r.o.（チェコ） 大同メタルヨーロッパ LTD.（英国） 大同メタルロシア LLC（ロシア）	
	【北米】		
	大同メタル U.S.A. INC.（米国） 大同メタルメキシコ販売 S.A. DE C.V.（メキシコ） ISS メキシコマニュファクチャリング S.A. DE C.V.（メキシコ）	大同メタルメキシコ S.A. DE C.V.（メキシコ） ISS アメリカ INC.（米国）	

役員

(2023年9月30日現在)

【取締役及び監査役】

代表取締役会長兼社長 CEO 兼 COO	判 治 誠 吾
取締役 常務執行役員	佐 藤 善 昭
取締役 常務執行役員	墓 越 繁 昌
取締役 常務執行役員	吉 田 有 宏
取締役 常務執行役員	古 川 智 充
☆ 取締役	武 井 敏 一
☆ 取締役	星 長 清 隆
☆ 取締役	白 井 美 由 里
監査役	高 木 幸 司
☆ 監査役	松 田 和 雄
☆ 監査役	吉 田 悦 章

【注】 ☆印は会社法に定める社外取締役及び社外監査役であります。

【執行役員及び執行役員格】

常務執行役員	平 松 伸 隆
上席執行役員	正 田 健 二
上席執行役員	川 瀬 誠 晃
上席執行役員	渡 部 啓 貴
上席執行役員	伊 藤 弘 記
上席執行役員	岩 倉 弘 記
執行役員	小 島 尚 敦
執行役員	林 中 野 雅 裕
執行役員	立 木 志 津 夫
執行役員	浅 野 利 文
執行役員	市 橋 直 一
執行役員	栗 田 幸 彦
執行役員	籠 原 主 税
執行役員	川 原 輝 彦
執行役員	落 合 重 人
執行役員	土 屋 敏 彦
執行役員	高 木 貴 裕
執行役員	丹 羽 武 司
執行役員格	片 桐 武 司
執行役員格	ティム アレン

株式事項 (2023年9月30日現在)

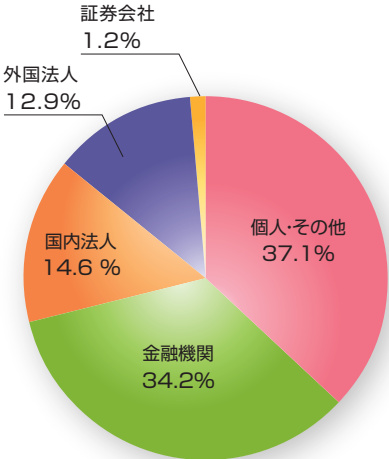
株式の状況

発行可能株式総数 80,000,000 株
発行済株式の総数 47,520,253 株 (自己株式 1,954 株を含む)
株 主 数 13,341 名

大株主

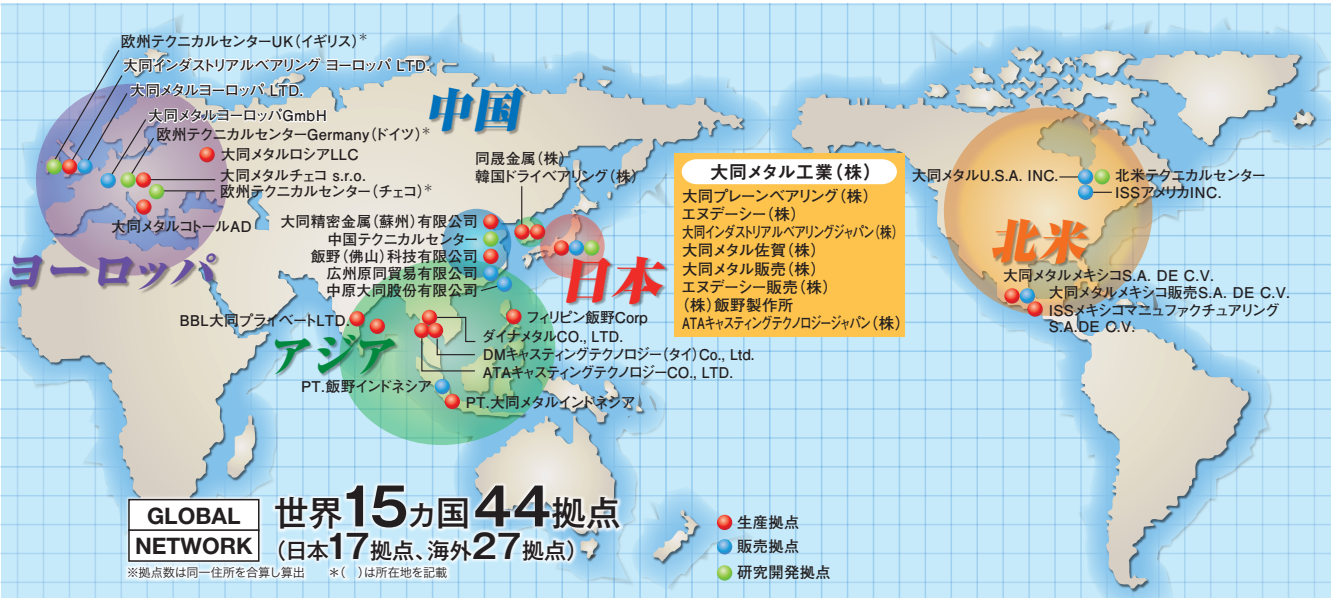
株 主 名	持株数 (千株)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,746
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	2,036
三井住友信託銀行株式会社	1,978
株式会社みずほ銀行	1,977
大同メタル友栄会持株会	1,833
大同メタル従業員持株会	1,831
株式会社三菱 UFJ銀行	1,822
東京海上日動火災保険株式会社	1,107
THE SERI WATHANA INDUSTRY CO.,LTD 703000	1,000
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	886

所有者別株式保有状況



グローバルネットワーク (主な拠点)

(2023年9月30日現在)



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月	特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
基準日	定時株主総会：毎年3月31日 期 末 配 当：毎年3月31日 中 間 配 当：毎年9月30日	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店で行っております。
単元株式数	100株		
公告方法	電子公告の方法により、当社のホームページ (https://www.ir.daidometal.com/)に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。		
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場、名古屋証券取引所プレミアム市場		

株式に関する諸手続きのご案内

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

三井住友信託銀行株式会社

- | | |
|---|--|
| 1 株式事務に関するご質問 (フリーダイヤル)
0120-782-031 [受付時間：平日 9:00～17:00] | 2 インターネットによる株式に関する諸手続きのご案内
三井住友信託銀行： https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/ |
|---|--|

株主優待

株主優待制度の概要

- 株主優待の対象となる株主様
毎年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された、500株以上を保有の株主様。
- 株主優待の内容
毎年3月31日現在の保有株式数と継続保有期間に応じて、クオカードを年1回贈呈。
- 株主優待の贈呈時期
対象株主様には、定時株主総会終了後の6月下旬に報告書等とともに発送いたします。

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満	3年以上
500株以上～1,000株未満	クオカード 1,000円分	クオカード 2,000円分
1,000株以上～5,000株未満	クオカード 1,500円分	クオカード 2,500円分
5,000株以上	クオカード 2,000円分	クオカード 3,000円分

※「継続保有期間3年以上」とは、毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載又は記録され、かつ3月31日及び9月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で、500株以上の保有が7回以上連続で記載又は記録された株主様といたします。

IR専用サイトURL

<https://www.ir.daidometal.com/>



大同メタル早わかり動画URL

<https://www.daidometal.com/jp/20230202-3/>



将来に関する事項につきましては、現在において当社グループが判断した一定の前提に基づいたものであります。これらの記載は実際の結果とは異なる可能性があり、その達成を保障するものではありません。

大同メタル工業株式会社



<https://www.daidometal.com/jp/>



環境に配慮した
「植物油インキ」を
使用しています。



適切に管理された森林で
生産されたことを示す「FSC®」
認証紙を使用しています。